

令和2年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
林産部門

里山整備に配慮した循環型しいたけ生産

○氏名又は名称 河合 清・河合 くに

○所在地 大分県大分市

○出品財産物（きのこ類）

○受賞理由

・地域の概要

大分市は、大分県沿岸部のほぼ中央に位置し、市西部を除いてほとんどが瀬戸内海型気候区の一部となっている。古くからしいたけ生産が盛んに行われており、施設整備や品評会等の実施を通して作業の効率化や技術向上が図られている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

建設業や産業廃棄物処理業などを行う企業を経営していたが、12年前に経営から退いたことを契機に、しいたけ栽培を高齢の兄から引き継いだ。前職の経験を活かし、小型建機や施設栽培を積極的に導入するなど規模拡大を図った結果、県内でも有数の生産者となった。露地とハウスを組み合わせた気象条件に左右されにくい収穫量の確保を目指す工夫を行い、経営の安定化を図っている。

・受賞者の特色

(1) 環境に配慮した循環型しいたけ生産

河合氏は、散水や通風管理など気象条件にあったきめ細やかな栽培管理に取り組むことで、良質な天白や茶花冬菇、生しいたけを生産している。さらに、しいたけ原木を地域の荒廃したクヌギ林から採取し、伐採後に植栽等を行うことで里山の再生を図るとともに、生産した玉切り原木を新規参入者や高齢の生産者にも供給している。また、使用後の廃ぼだ木を放置竹林から採取した竹チップと混合して堆肥化し、近隣農家に配布するなど、環境配慮や地域貢献に努めた取り組みを行っている。

(2) 販路の確保と女性の活躍

河合氏の妻が経理面で経営を支える一方、息子の妻は直売所「菜葉屋」の運営を担っており、加工品の開発や、他の直売所への出荷を通じて、直販の拡大に努めている。さらに、原木生しいたけが高値で取引されている京都市場への生しいたけ出荷や大手ECサイトでのネット販売、ふるさと納税返礼品での販売等、販路拡大にも取り組み、大幅な販売量増加と収益増加を達成している。

・普及性と今後の発展方向

市の生産者組合や原木生椎茸出荷部会で会長を務め、新たな原木供給システム構築、若手生産者に対する栽培技術の指導、季節的に生しいたけを生産し経営の安定化を図る手法の普及等に尽力している。また、クヌギ100%菌床を使用した高品質しいたけ生産等、新しい取組を導入することで若い世代の新規参入を図る計画を持っており、しいたけ生産の活性化に向けた地域リーダーとしての活躍が期待される。